

モグくんのクイズコーナー



今号をよく読んで
答えてネ!

問題 名古屋市営地下鉄が開業したのはいつでしょう?

- ① 昭和22年
- ② 昭和32年
- ③ 昭和42年

応募方法 クイズの答えと今号の感想、あなたの郵便番号、住所、氏名、電話番号を記載して、はがき・FAX・Eメールいずれかの方法で応募してください。
[2019年5月31日必着]
 正解者の中から、抽選で5名の方に**マナカチャージ券1,000円分**をプレゼントします。(当選者の発表は発送に替えさせていただきます)
 ※応募は同一住所一通に限らせていただきます。
 ※取得した個人情報は問い合わせの回答、内容の確認及び発送事務のみに使用し、その他の目的では使用しません。

応募先 〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 名古屋市道路占用調整協議会
 FAX (052) 972-4167
 メールアドレス a2841@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp

名古屋市道路占用調整協議会とは?

名古屋市道路占用調整協議会とは、名古屋市内の道路工事の時期などを関係者間で調整することで、無駄な掘り返し工事をなくし、道路工事の縮減、工事期間の短縮や効率化に努める機関です。
 また、道路や道路工事に対する理解を深めていただくために広報誌「ディガー」を定期的に発行しています。

名古屋市道路占用調整協議会は、名古屋市緑政土木局、国土交通省、愛知県警察本部、名古屋高速道路公社、名古屋市上下水道局、名古屋市交通局、西日本電信電話株式会社、中部電力株式会社、東邦ガス株式会社、東海旅客鉄道株式会社などで構成しています。

下記ウェブサイトより、ディガーのバックナンバーもご覧いただけます。

編集後記

第37号のクイズの正解は③電気のマンホールカードでした。65名のご応募をいただき、正解者の中から抽選で5名の方にマナカチャージ券をお送りしました。今回も貴重なご意見やご質問等が寄せられました。今後の紙面に反映していきたいと思っております。
 クイズの回答とあわせて皆様からのたくさんのご意見やご質問をお待ちしております。

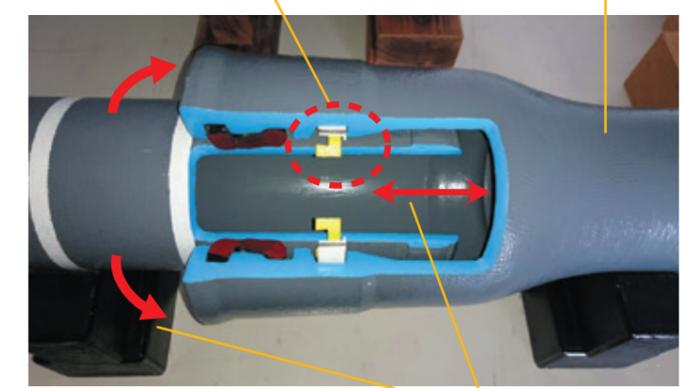
**次号は
2019年11月1日
発行予定です。
お楽しみに!**

ディガー



配水管の耐震化 ～水道管を地震に強くします～ 地震に強く長寿命な配水管

- 抜出し防止装置** 大規模地震による大きな揺れに対して、管の抜け出しを防止します。
- 強度が高く腐食しにくい管** ダクタイル鋳鉄という強度が高い管体に土壌による腐食を受けにくい塗装をしています。



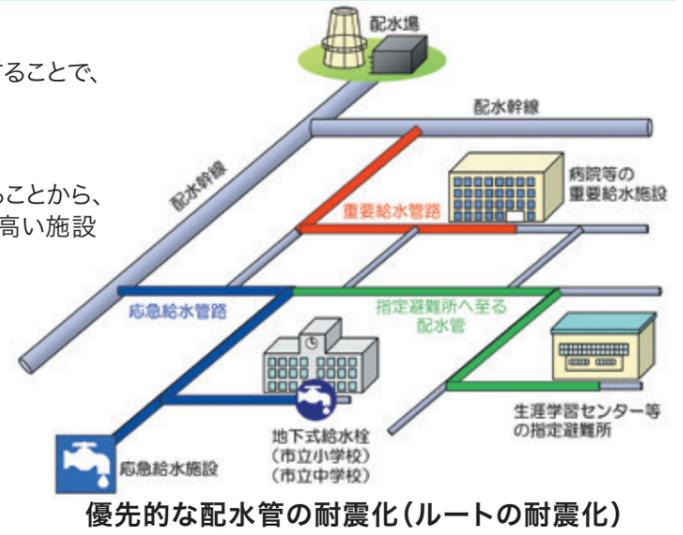
現在使用している配水管 (GX形ダクタイル鋳鉄管)
伸縮・屈曲機能 地震発生時には管の継手が伸縮・屈曲して地震の揺れに追従します。

現在、新しく布設する配水管には、南海トラフ巨大地震にも耐えられる「耐震管」を使用しています。
 最も新しい「GX形ダクタイル鋳鉄管」は、ダクタイル鋳鉄という高強度の管体に、土壌による腐食を受けにくい塗装を施していることから、地震に強く、長寿命(100年以上)な配水管として期待されています。

配水管の耐震化計画

- ◆配水管の耐震化 古くなった配水管を取り替える際に**耐震管**を使用することで、「**配水管の耐震化**」を図っています。
- ◆ルート耐震化 すべての配水管を耐震化するには長い年月がかかることから、「**ルートの耐震化**」として、災害時の給水優先度が高い施設へ至る配水管を**優先的に耐震化**しています。

- これまで「ルートの耐震化」を実施した施設**
- 応急給水施設
 - 地下式給水栓 (市立小中学校)
 - 重要給水施設 (病院、入所型福祉施設等)
- 現在「ルートの耐震化」を実施している施設**
- 指定避難所

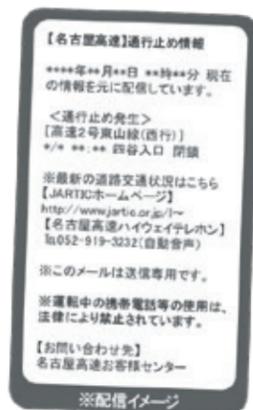




お客様へ適時・適切な情報提供を目指して！ ～名古屋高速防災情報（通行止め）メールサービス～

平成30年8月から名古屋高速道路における道路交通情報のうち通行止め情報について、お客様へ適時・適切に情報提供するため、「名古屋高速防災情報（通行止め）メールサービス」を運用しています。メール配信については、お客様の配信希望の路線・曜日・時間帯を選択していただけます。通勤で名古屋高速を利用される方や、運送・配送業者の方などにオススメです。ぜひご利用ください。

登録（無料）は、QRコード、または、
名古屋高速道路公社ホームページで！



《URL》<https://nex.nagoya-expressway.or.jp/bosai/>

大規模地震後の ガス復旧状況の周知について



大規模地震が発生した場合、安全のためにガスの供給を停止します。その際、東邦ガスは、テレビ・ラジオ等の報道機関、ならびに東邦ガスのホームページを通じて、供給停止/復旧状況をお知らせします。

今年度、ホームページの専用マップをリニューアルし、詳細な地区ごとに復旧に向けた点検予定日をご確認いただけるようになりました。

	リニューアル後	リニューアル前
地図上での情報開示区分数	約1,700	72
復旧情報の種類	5種類 ①供給継続中(無色) ②供給停止中(赤色) ③道路部分のガス管の点検中(黄色) ④お客さまのガス設備の点検中(緑色) ⑤復旧完了(青色)	3種類 ①供給継続中(青色) ②供給停止中(赤色) ③復旧作業中(黄色)
地区毎の吹き出し表示	○ (③、④では点検予定日を表示)	×
イメージ(熱田区周辺)		

NTT西日本 地下設備の紹介 ～ とう道編その①～



NTTの通信ケーブル(通信網)は、様々な設備で構築されたルートを通り、局ビルからお客様のお宅まで繋がっています。代表的な設備としては、地上に設置された電柱を初め、地下の管路やマンホール等があります。これらは、安心・安全なサービスをお客様へ継続して提供するため、通信ケーブルの防護やルート確保をするための重要な設備となります。

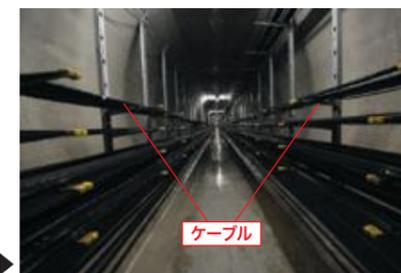
今回は、その中でも最も重要となるNTTの局ビル間や重要ルートをつなぐ「とう道」について紹介します。

●とう道の目的

通信網の拠点となる局ビル周辺は、多くの通信ケーブルがあり、膨大な通信ケーブルを収容するスペースの確保、災害時の通信ケーブル損傷防止、設備の保守性の向上等を目的として設置されます。

●とう道の特徴

- ①耐震性◎ (震度6以上の地震において崩壊事例無し)
- ②セキュリティー◎ (とう道監視システムによる24時間集中監視)
- ③工事の作業性◎ (道路規制等無し)



とう道内部▶

役目を終えた地下鉄送電線の 管路撤去工事を行いました！



名古屋市交通局

道路の下には、水道管、下水管、ガス管、電力線、電話線など、生活に欠かせない様々なライフラインが通っています。限りある道路下空間を有効に活用するため、不要になった埋設物は撤去する必要があります。

交通局では、昭和32年の地下鉄開業当初から稼働していた東山線の変電所が老朽化したことから、平成28年に別の場所に新設し、これまで使用していた変電所を廃止しました。そのため、役目を終えた旧変電所から地下鉄東山線のトンネルまで道路下に敷設していた送電線用管路(延長約200m)を撤去することとなり、平成29年度から管路撤去工事を実施しました。

工事に際しまして、一部通行止め等の交通規制をさせていただき、周辺の皆様、通行の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。ご理解、ご協力ありがとうございました。



◀位置図



◀管路撤去